

小学部第6学年 生活単元学習 授業案

日 時：令和2年10月30日

10:35~11:15

場 所：小学部6年教室

授業者：T1加藤美春 T2井上正伸

1 単元名 よねようまつりで、ボウリング屋さんになろう

2 期待する姿

- ・自分の好きなことや得意なことを生かしてボウリングの製作や準備に取り組む姿。
- ・友達や教師と協力してボウリング屋さんを運営したり、招待したお客さんと一緒に活動を楽しんだりする姿。

3 単元計画について

(1) 児童および単元のテーマについて

- ・小学部6学年は、男子3名、女子1名の児童が在籍している。障がいの程度は様々であるが、友達や教師と関わるのが好きな児童が多く、学級の友達だけでなく他の学級の友達や教師にも、自分から話し掛け関わりを持とうとする姿が見られる。また、朝の会・帰りの会の進行や掛け声、挨拶など、みんなの前に立つ役割に進んで取り組む児童が多い。
- ・本単元は「よねようまつりでボウリング屋さんになろう」である。全校行事である「よねようまつり2020」が、11月14日に開催され、学校全体が「よねようまつり2020」に向けた活動に取り組み、盛り上がる。今年度は、会場の密を防ぐため、よねようまつり当日に大勢で集まることができないため、まつり直前の1週間、「よねようまつりウイーク」が設定されている。「よねようまつりウイーク」では、小学部の発表に中・高等部の生徒を招いたり、中・高等部でプチ販売会を実施したりして、他学部でどのような活動をしているか知ったり、プチ販売会で買い物を楽しんだりする。小学部では、「よねようまつり」に向け、毎日の「なかよし広場」でキャラクターと一緒にダンスを踊ったり、クラスごとに発表の練習や準備をしたり、廊下の装飾をしたりする。6学年の児童にとっては、小学部として最後の「よねようまつり」である。昨年度までは主に劇などの発表に取り組んできたが、小学部最後の今年は、保護者や同じ学部の友達、他学部の生徒を招待して、関わりながら一緒に楽しむことができる活動にしたいと考えた。
- ・ボウリングは児童が大好きな活動であり、これまで何度も経験があるため、見通しを持って活動することができる。今年度も、年度初めの「なかよくなるろう」の単元や修学旅行の事前学習でボウリングを楽しんだ。「なかよくなるろう」の単元では、段ボールやペットボトルなどをピンとして用意し、教師がいろいろな置き方を示したり、自分達で自由に置くようにしたりしたことで、工夫してピンを置き楽しむ様子が見られた。また、ボウリングの得点表に興味を持ち、単元が終わった後も自主的に得点を記入して遊ぶ姿も見られ、「またボウリングがしたい。」

と言う声も多かった。そこで、みんなが大好きなボウリングを題材にすることで、招待したお客さんに楽しんでもらい、さらに自分達も一緒に楽しむことができると考え、本単元を設定した。

- ・本単元では、ボウリング屋さんに必要なピンやレール等を自分達で製作し、出来上がったボウリング屋さん身近な人を招待してボウリング屋さんを運営したり対戦したりする。「よねようまつりウィーク」にお客さんに来てもらうことに期待感を持ちながら、自分の好きな活動に取り組んだり得意なことを生かしたりして、ボウリングで使う道具の製作や、招待用のチケットやポスター作りなどの準備に意欲的に取り組む姿を期待したい。「よねようまつりウィーク」でボウリング屋さんを開くことを目指して、カレンダーで活動の予定を確認しながら、意欲を持って活動に取り組めるようにする。ある程度製作が進んできたら、まずは自分達で遊ぶ。製作しては遊ぶ、という活動を繰り返す中で「もっと〇〇が必要。」「こんなものがあつたら楽しくなりそう。」など、児童のアイデアを引き出していきたい。アイデアを出し合いながら自分達でより良い物を作っていくという過程を大切にすることで、出来上がった時に大きな達成感、満足感を感じてほしいと考える。
- ・ボウリング屋さんの運営では、進行係、得点係など一人一人が役割分担をして取り組む。児童の好きなことや得意なことを生かすことができる役割分担をすることで、自分から進んで活動に向かう姿を期待したい。

(2) 活動内容および日程計画

月 日	3・4校時の活動内容
10月19日(月)	導入
20日(火)	ボウリング屋さんに必要な物の製作(レール)
21日(水)	(ピン)
22日(木)	(ボール通路)
23日(金)	(メダル) 完成したボウリングで遊ぶ
26日(月)	(チケット・ポスター)
27日(火)	(看板・装飾)
28日(水)	チケット配り
29日(木)	先生招待・インタビュー
30日(金) 本時	
11月2日(月)	ボウリングの改善・修繕
4日(水)	
5日(木)	
6日(金)	チケット配り
9日(月)	小学部招待
10日(火)	
11日(水)	
12日(木)	中学部招待
13日(金)	高等部招待
14日(土)	よねようまつり 保護者招待

よねようまつりウィーク

↓

※〇〇招待・・・同じ学部の教師や友達、他学部の教師や生徒、保護者をボウリング屋さんに招待し、一緒にボウリングを楽しむ活動。

4 地域や社会の資源の活用や地域や社会との連携・協働について

- ・自分達で運営するボウリング屋さんに、身近な友達や教師、保護者を招待する。
- ・「よねようまつりウィーク」で他学年の友達や他学部の生徒を招待する前に、学部内外の教師を招待しボウリングを体験してもらおう。体験後のインタビューで出された意見や感想等を、次の活動に活かしていく。

5 本時の計画

(1) 本時の期待する姿

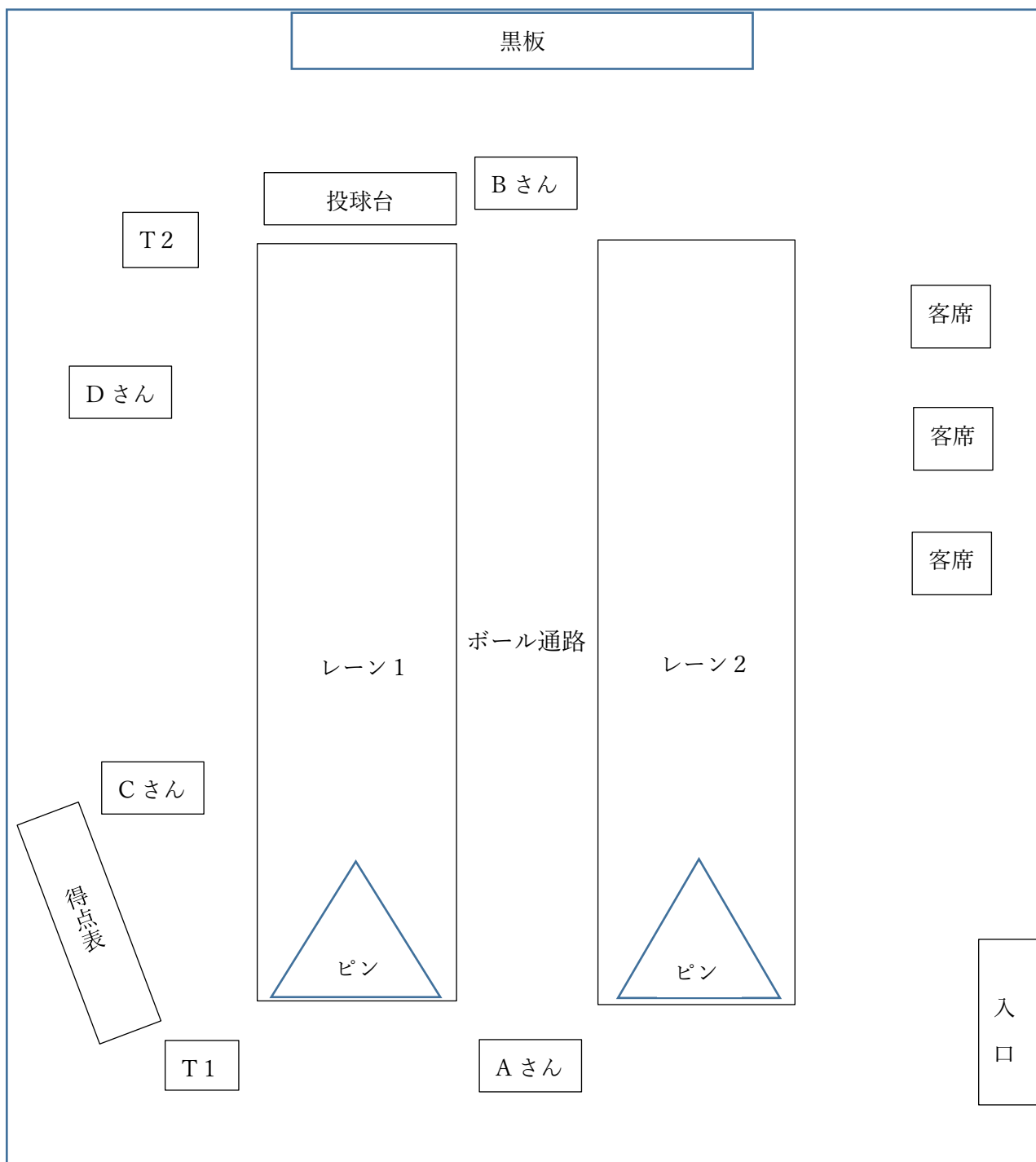
- ・自分の役割に意欲的に取り組み、友達や教師と協力してボウリング屋さんを運営する姿。
- ・招待したお客さんと一緒に、ボウリングを楽しむ姿。

(2) 展開

時配	児童の活動	教師の動き
5	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の流れを確認する。 ○お客さんを迎える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・T1が、活動の流れを確認する。
20	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの役割に取り組み、ボウリング屋さんを運営する。 Aさん・・・ピン係 Bさん・・・ボール係 Cさん・・・得点係 Dさん・・・進行係 ○「vs6年生」をする。 ・お客さんとチームと6年生チームに分かれ、チームから一人ずつ出て対戦する。 ・一人2投ずつ投げ、勝った人にメダルをかける。 ・チームの勝敗を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がそれぞれの役割に取り組むことができるように、T1は、主にAさん、Cさん、T2は、主にBさん、Dさんを支援する。 ・勝敗が視覚的に分かるように、得点を表すタイルを用意する。 ・T1が、「vs6年生」の進め方を説明する。 ・投げる児童の役割を、代わりに行う。 ・それぞれのチームのメダルの数を数え、勝敗を確認する。
5	<ul style="list-style-type: none"> ○お客さんにインタビューをする。 ・ボウリングをしての感想や意見を聞く。 ○お客さんを見送る。 ・お礼を言って、見送る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューをする項目が分かりやすいように、イラストを用いたカードを用意する。 ・気持ちが盛り上がるように、マイクを用意する。 ・後で振り返ることができるように、インタビューの様子を録画する。
10	<ul style="list-style-type: none"> ○活動を振り返り、次の活動の確認をする。 ・録画したインタビューを見る。 ・次の活動（改善・修繕するところ）を考える。 ○後片付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・達成感や満足感を感じることができるように、それぞれの頑張りを称賛する。 ・録画したインタビューの内容を見て、次の活動を確認する。 ・役割を分担し、一緒に片付けをする。

(3) 場の設定と配置について

< 6年生教室 >



(4) 本時の個別の期待する姿と手立ての工夫

名 前	Aさん (6学年)		
単元の期待する姿	テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> ・ボウリングに必要な物を考え、ピンを並べる型や投球台を工夫して製作する。 ・自分の役割に進んで取り組み、友達や教師と一緒に、楽しんでボウリング屋さんを運営する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなでゲームをする際のルールを理解し、ルールを守ってゲームをする。(知・技) ・ボウリング屋さんに必要な物を考え、友達や教師に伝える(思・判・表) ・作り方や道具・材料を自分なりに考えて、製作する。(思・判・表) ・ボウリング屋さんをすることを楽しみにしながら、時間一杯意欲的に製作や準備に取り組む。(主) ・自分の役割に進んで取り組み、友達や教師、お客さんと一緒に楽しんで活動する。(主) 		
本単元に関わる支援内容	日生④ 生単① 自立①、③	主な各教科との関連	生活3段階エ(ア)、カ 図工3段階(2)A(イ)
本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て	
<ul style="list-style-type: none"> ・ピンを並べる型を使いたい気持ちが高く、自分からピン係の仕事に取り組むことができた。また、型を使い素早くピンを並べることができている。 ・教師からの称賛を受けると笑顔になり、自分からピン係の仕事に取り組むことができています。 ・ゲームで負けたことが悔しくて、泣いたり大きな声を出したりすることがある。みんなで楽しく活動するためにはどうしたらよいか、事前に確認することで、負けた時に、「そういう時もあるね。」と教師に話し、自分で納得することができることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピン係の仕事に自分から取り組み、素早くピンを並べる。 ・笑顔で活動し、お客さんと一緒にゲームを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンを楽しみながら素早く並べることができるように、ピンを並べる型を用意する。 (教材や用具) ・自分から進んで係の仕事ができるように事前に役割を確認したり、自分からできた時に称賛したりする。(友達や教師との関わり) ・みんなでゲームを楽しむことができるように、事前にお客さんに喜んでもらうための態度や表情、ゲームをする際の約束について、繰り返し確認する。活動中に不安定な様子が見られる時には、早めに声掛けをする。 (友達や教師との関わり) 	

名 前	Bさん (6学年)		
単元の期待する姿	テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> ボウリングに必要な物を、自分で製作する。 自分の役割が分かり、自分から役割に取り組みながら、友達や教師と一緒に楽しんでボウリング屋さんを運営する。 	<ul style="list-style-type: none"> ハサミなどの身近な用具や材料の使い方を覚え、自分で製作活動に取り組む。(知・技) 投げる順番や位置などのルールが分かり、自分で投げる。(知・技) 用具や材料の種類や色を自分で選んで、ボウリングに必要な物を製作する。(思・判・表) 自分の役割を覚え、自分からお客さんにボールを渡す。(主) 自分の順番が来たら、自分から前に出てボールを投げる。(主) 		
本単元に関わる支援内容	日生① 生単② 自立①	主な各教科との関連	生活 2段階工 (ア)、カ (ア) 図工 2段階 (2) A (イ)
本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て	
<ul style="list-style-type: none"> 目の前にボールが転がってくるとボールを手に取り、友達や教師の声掛けを受けて、ボールを手渡すことができた。 学級で行ったボウリングのゲームでは、友達や教師がボウリングをする様子を見て、自分でボールを投げるができていた。ピンに当たるとジャンプして喜ぶ姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達や教師の声掛けを受け、自分でお客さんにボールを渡す。 初めてのお客さんの中でも、自分からボールを投げ、ボウリングを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分からボールを手にとることができるように、手元にボールが戻ってくる「ボール通路」を作る。(場の配置)(教材や用具) 自分でボールを渡すことができるように、ジェスチャーを交えた分かりやすい声掛けをする。(友達や教師との関わり) 楽しみながらボウリングをすることができるように、盛り上げるような声掛けをする。(友達や教師との関わり) 自分からボールを投げられるように教師が手本を示したり、投げる順番を工夫したりする。(友達や教師との関わり) 	

名 前	Cさん (6学年)		
単元の期待する姿	テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> ボウリングの道具を一緒に作ったり、作り方を友達に教えたりしながらみんなと協力して製作に取り組む。 お客さんが楽しめるように自分の役割に取り組みながら、お客さんと一緒にボウリングを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 集計表を読み取り、倒れたピンの合計を計算する。(知・技) ボウリングをするための道具の作り方が分かり、それを友達に伝える。(思・判・表) 簡単な表を用いて得点を記入したり、表から勝敗を読み取ったりする。(思・判・表) ボウリング屋さんでの自分の役割が分かり、得点を相手に伝える。(思・判・表) 丁寧な言葉でお客さんと関わる。(主) 積極的に活動に参加し、ボウリング屋さん開店に向けた準備や得点係の役割を行う中で、自分から友達と関わろうとする。(主) 		
本単元に関わる支援内容	生単①、② 自立②、③	主な各教科との関連	算数2段階Dア、生活3段階オ
本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て	
<ul style="list-style-type: none"> 記入する場所を教師に聞きながら集計表に得点を書くことができています。事前に記入の仕方を確認すると自分で得点を記入できました。 丁寧な言葉の一覧表を渡されると自分で読んで、丁寧な言葉遣いで話すことができています。 教師や友達と一緒に喜んだり悔しがったりしながらボウリングを楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で記入した集計表から勝敗を読み取る。 丁寧な言葉でお客さんと関わり、ボウリングを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 集計表から勝敗を読み取れるように、集計結果が分かりやすいレイアウトの表にする。(教材や用具) 自分の役割に集中して取り組めるように、事前に動きを確認したり、声掛けしたりする。(友達や教師との関わり) 丁寧な言葉でお客さんと関わるができるように、事前に言葉遣いを確認したり、丁寧な言葉の一覧表を用意したりする。(友達や教師との関わり)(教材や用具) ボウリングを一層楽しめるように、ボウリングをする時に、一緒に喜んだり悔しがったりして気持ちを共有する。(友達や教師との関わり) 	

名 前	Dさん (6学年)		
単元の期待する姿	テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> ・ボウリングに必要な道具や、ボウリング屋さんを運営するために必要な物が分かり、自分から製作することができる。 ・自分の役割を覚えて自分からボウリング屋さんの運営に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボウリングに必要な道具や、ボウリング屋さんを運営するために必要な物が分かる。(知・技) ・はさみなどの身近な用具の使い方を覚え、安全に使用する。(知・技) ・自分の役割を覚えて、初めてのお客さんの前でも大きな声で進行する。(思・判・表) ・ボウリング屋さんをすることを目標にしながら自分から製作活動に取り組む。(主) ・製作活動に時間一杯取り組む。(主) 		
本単元に関わる支援内容	生単②、③ 自立②、④	主な各教科との関連	生活 2段階オ、カ
本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て	
<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に表を見ながら進行の練習をすると、進行の手順を覚えて自分で進めることができるようになってきた。自信のない所は教師に聞きながら進行している。 ・友達や教師の応援を受けて、ボールを投げる時に「行きます。」と声を出して投げている。ボールが当たると「やったー。」と言って手を上げて喜ぶ様子が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客さんの前で教師と一緒に大きな声で進行をする。 ・友達や、初めてのお客さんと一緒にボウリングを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自信を持って進行できるように、手持ちの進行表を用意する。(教材や教具) ・大きな声で進行ができるように事前にゲームの流れやセリフの確認をする。また、声が小さくなる時には、教師がそばに行ったり、自信がないセリフを一緒に言ったりする。(友達や教師との関わり) ・お客さんと一緒に楽しくボウリングに取り組めるように、気持ちが盛り上がるような声掛けや応援をする。(友達や教師との関わり) 	

(5) 評価

- ・それぞれの役割に自分から取り組み、ボウリング屋さんを運営していたか。
- ・招待したお客さんと一緒に、ボウリングを楽しんでいたか。